

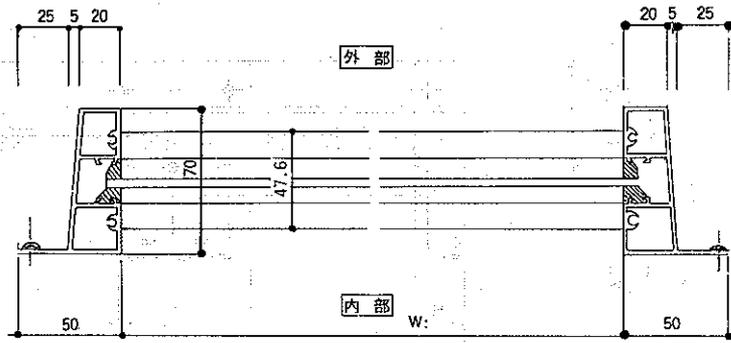
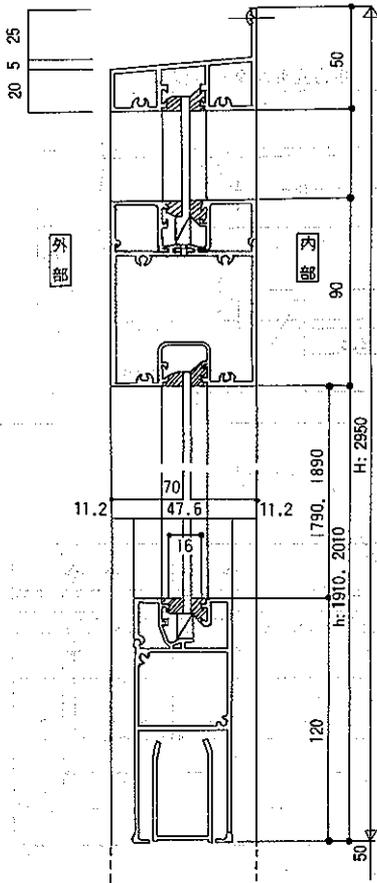
# スノーピア

<b>スノーピア</b> .....	669
規格パターン・ガラス寸法	670
設計基準	681
基本断面図	682
形材一覧	690
梱包明細	695
シーラー取付図	709
別売部品	710
縦枠加工図	712
別売部材納まり図	714
組立図	716
別売部材加工図	734
基本納まり図	737

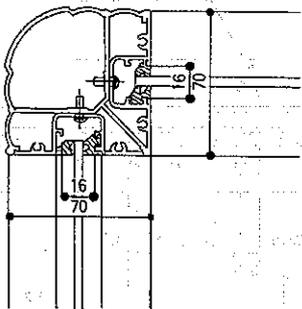
このファイルには  
で囲った部分が  
掲載されていま  
す。

# 別売部材納まり図

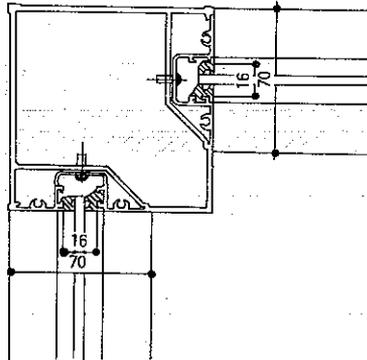
## ● 外付枠



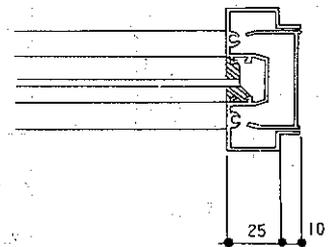
## ● コーナーアール方立



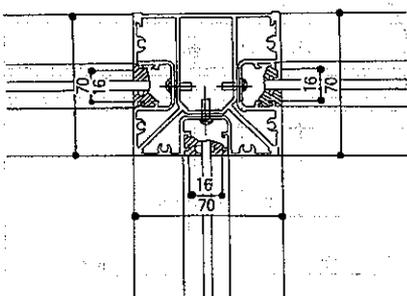
## ● コーナー方立100



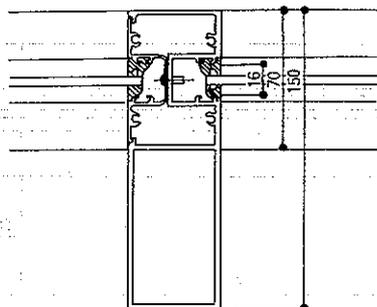
## ● アジャスト縦枠 アジャスト増枠



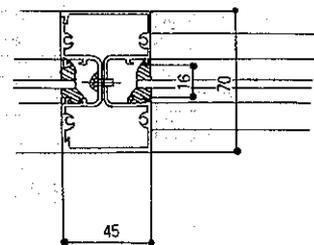
## ● 三方方立



## ● 割方立140

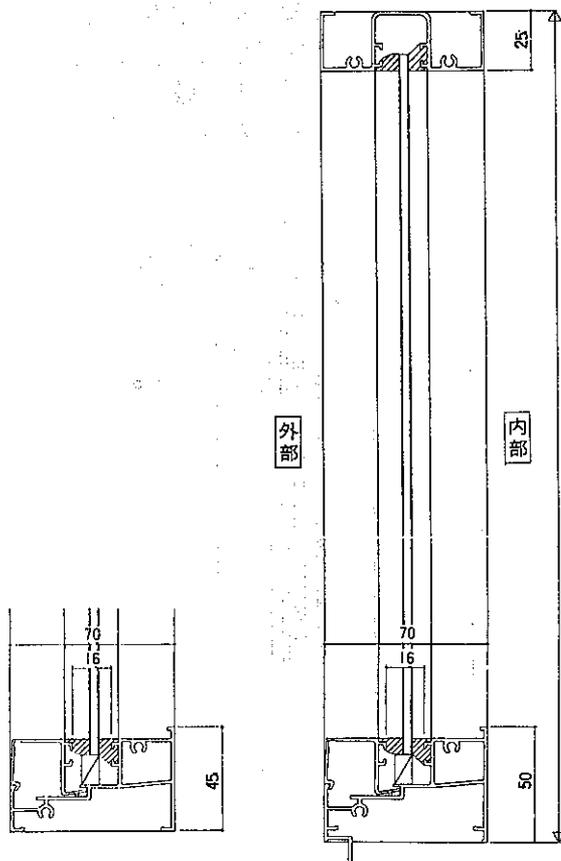


## ● 割方立



# 別売部材納まり図

## ● 下枠納まり図

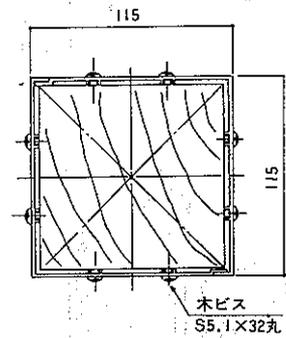


## ● 柱カバー

※ 形材のVノッチの所から  
木ビスで柱に取付けます。

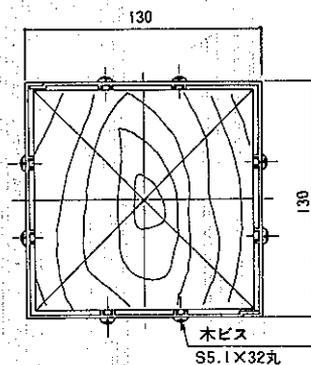
### 3.5寸用

(C)  
(H)  
(S) FJLWK105



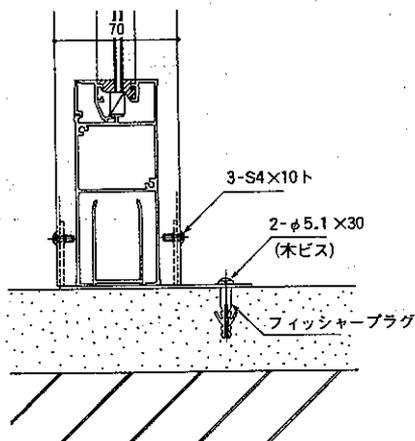
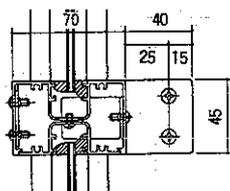
### 4寸用

(C)  
(H)  
(S) FJLWK120



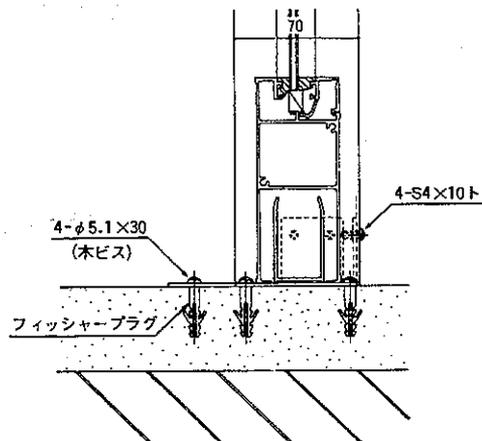
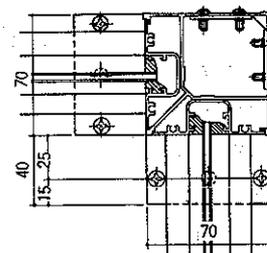
## ● 割方立アンカー

(C)  
(H)  
(S) FJEBO×3



## ● コーナー方立アンカー

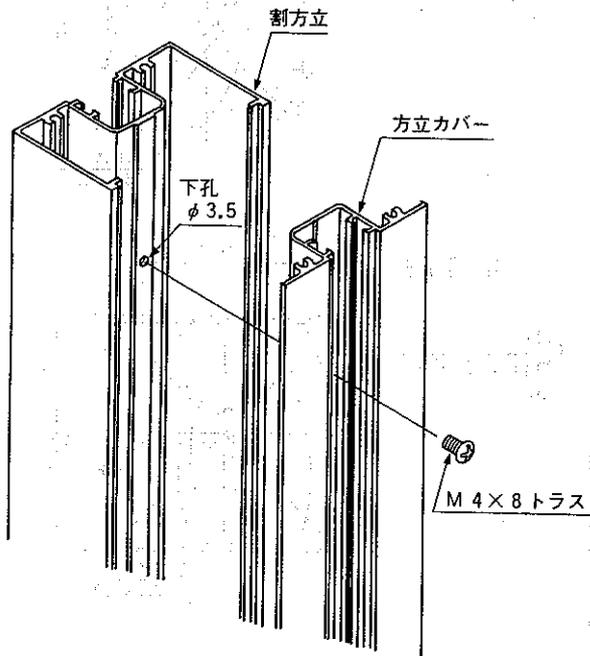
(C)  
(H)  
(S) FJEBO×4



## ■ 連窓割方立納まり図

図-2

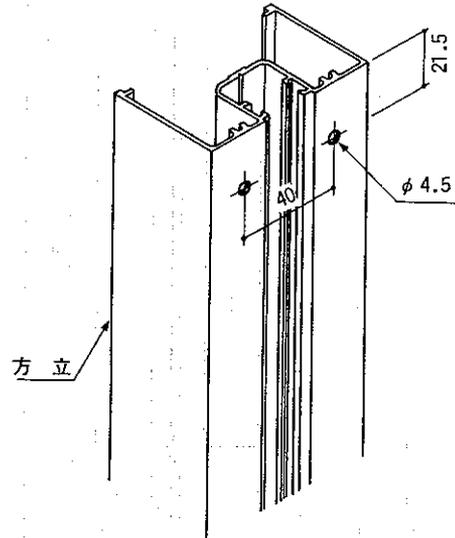
- 方立を連窓する場合  
図-2の様に加工願  
います。



## ■ 上部切詰め後孔明け位置

図-1

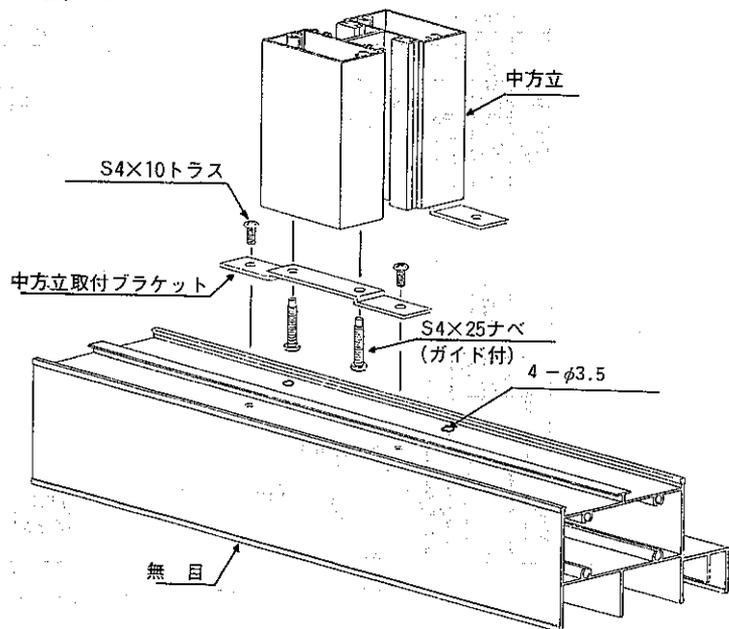
- 縦材を切詰める場合  
縦材の上部を切断し、  
図-1の様に加工し  
て下さい。



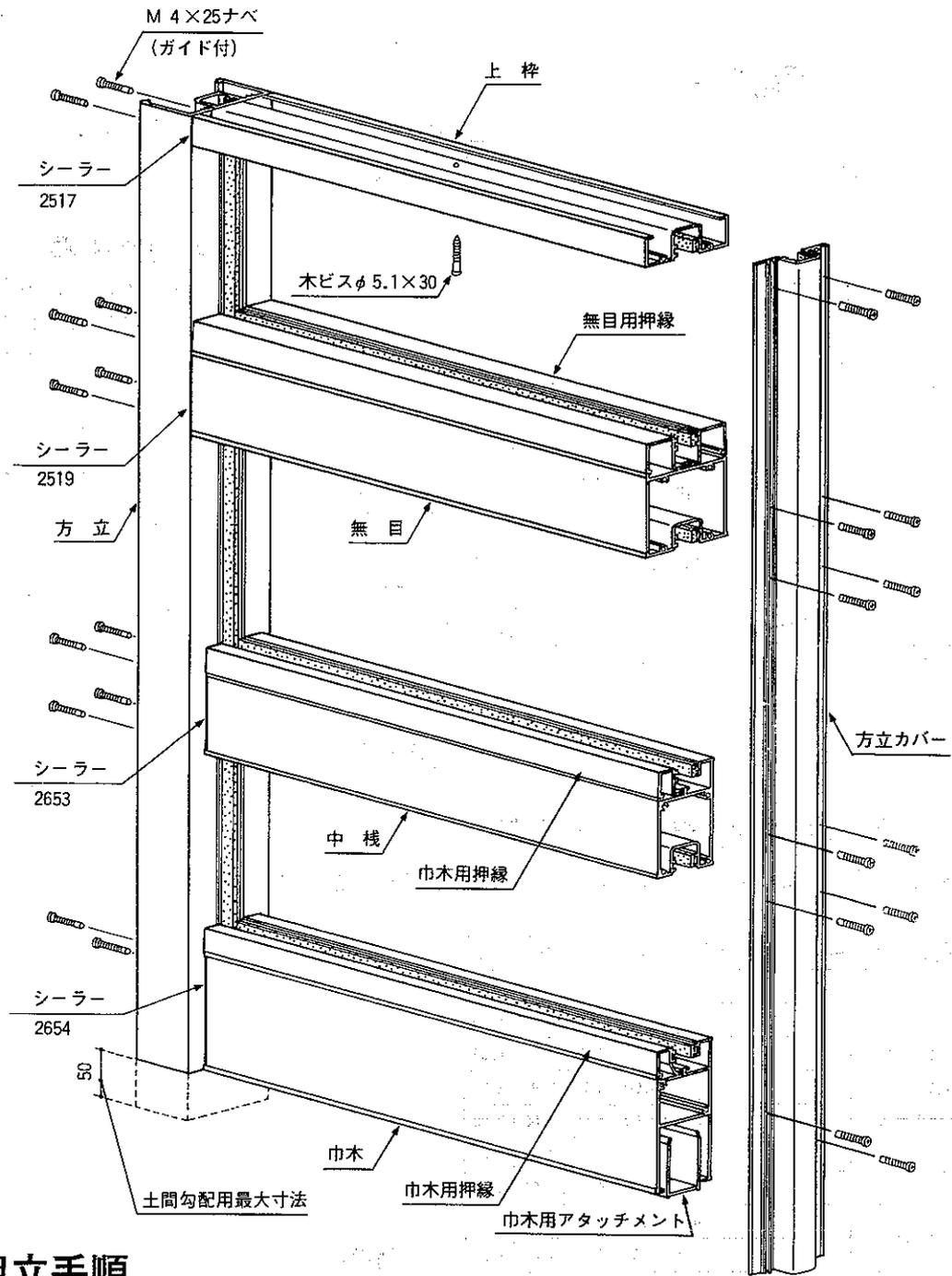
## ■ ランマ吊方立組立図

図-3

- ① 中方立取付ブラケットを  
図-3の様にビス(S4×  
25ナベ)で取付けて下さい。
- ② 中方立ブラケットと無目  
(S4×10トラス)で付け  
て下さい。



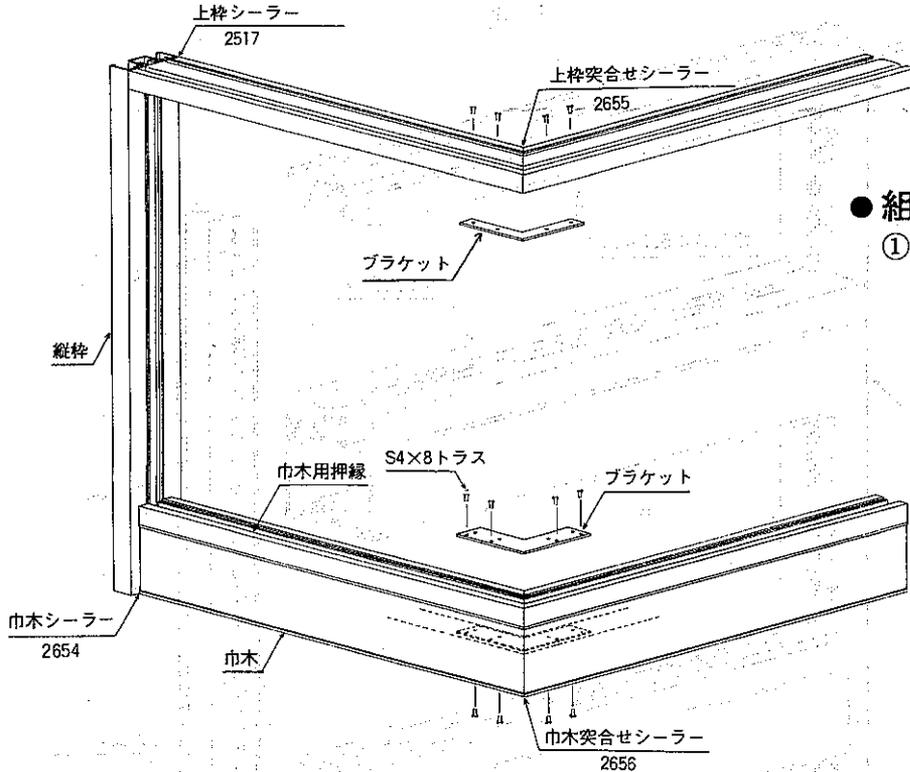
# 嵌殺し窓組立図



## ■ 組立手順

- ① 先付ビードを室内側にセットして下さい。
- ② 建物側の枠材にピッチ450~500mm位にφ5.5の孔明けをします。
- ③ 縦枠に横材組立孔に合わせてシーラーを貼り付けます。  
(縦枠には複数の横材取付孔が明けてありますので貼り付ける時注意願います…  
基本断面図参考のこと)
- ④ 縦枠と横材をビス (S 4×25ナベ) で組立てます。
- ⑤ 方立カバーとコーナー方立及び割方立をビスS 4×8トで固定します。  
その際方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けて下さい。
- ⑥ ガラスを外部から嵌こんだのちセッティングブロックをセットし、押縁を挿入し別売品後付ビードを押込みます。

# ガラス突合せ枠組立図



## ●組立手順

① 上枠及び巾木を左図の様にビス (S4×8ト) で固定して下さい。

注) 突合せ部分にシーラーをはさんで下さい。

○ガラス突合せ部分のガラス小口は必ず面カットして下さい。

## ■板ガラスの許容最大面積表

※ 開口面積によりガラス厚が異なりますので下表をご参考にして下さい。

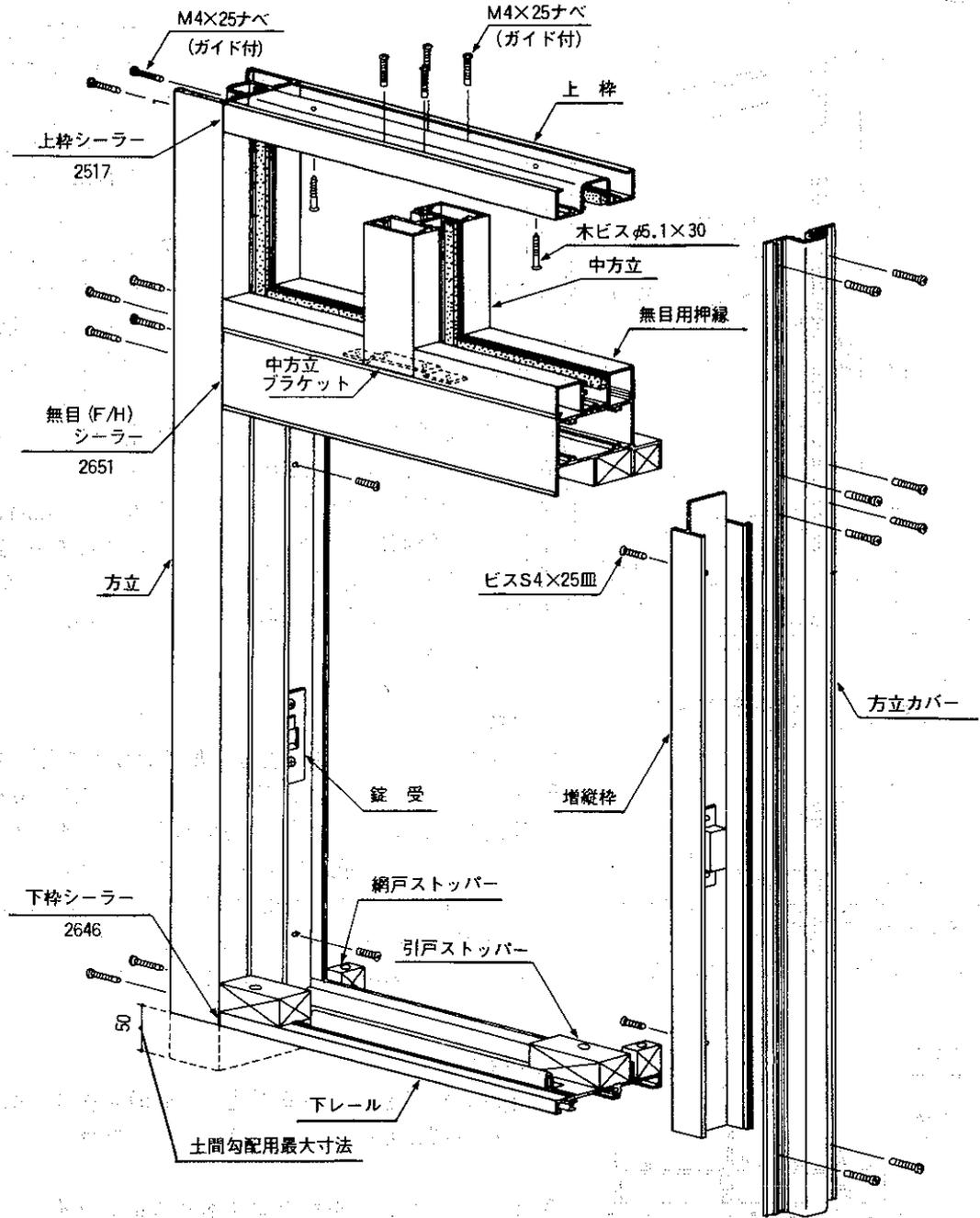
単位 [m<sup>2</sup>]

ガラスの種類	耐風圧性等級	80	120	160	200
フロート板ガラス 及び みがき板ガラス	3mm	1.97	1.31	0.98	0.79
	4mm	2.23	2.00	1.50	1.20
	5mm	4.00	2.81	2.11	1.69
	6mm	4.00	3.75	2.81	2.25
	8mm	4.00	4.00	3.60	2.88
	10mm	4.00	4.00	4.00	4.00
型板ガラス	4mm	1.80	1.20	0.90	0.72
	6mm	3.38	2.25	1.69	1.35
強化ガラス	4mm	1.80	1.80	1.80	1.80
	5mm	1.80	1.80	1.80	1.80
網入・線入板ガラス	みがき 6.8mm	4.00	3.21	2.41	1.93
	型 6.8mm	3.44	2.30	1.72	1.38
合わせガラス	6mm	2.16	2.10	1.58	1.26
	8mm	2.16	2.16	2.16	1.92
	10mm	4.00	4.00	3.38	2.70
	12mm	4.00	4.00	4.00	3.60
複層ガラス	3+3mm	1.92	1.92	1.47	1.18
	3+型 4mm	1.92	1.80	1.35	1.08
	4+4mm	2.16	2.16	2.16	1.80
	5+網・線型6.8mm	4.00	3.44	2.58	2.07
	5+5mm	4.00	4.00	3.16	2.53
	5+網・線みがき6.8mm	4.00	4.00	3.16	2.53
6+6mm	4.00	4.00	4.00	3.37	

### 〈備考〉

- ① フロート板ガラス 3mmには、普通板ガラス 3mmを含む。
- ② 強化ガラス 4mmには、型板の強化ガラスを含む。
- ③ 合わせガラスの材料板ガラスは、フロート板ガラスとし、厚さの呼びは、材料板ガラスの厚さの合計とする。
- ④ 複層ガラスの種類は、材料板ガラスの厚さで示し、特記のないものは、フロート板ガラスである。2板の板ガラスの間には、厚さ 6mm又は12mmの気体層が介在する。
- ⑤ 4mmを除くフロート板ガラス及び網入・線入板ガラスには熱線吸収板ガラスを含み、6mm以上のフロート板ガラスには熱線反射ガラスを含む。

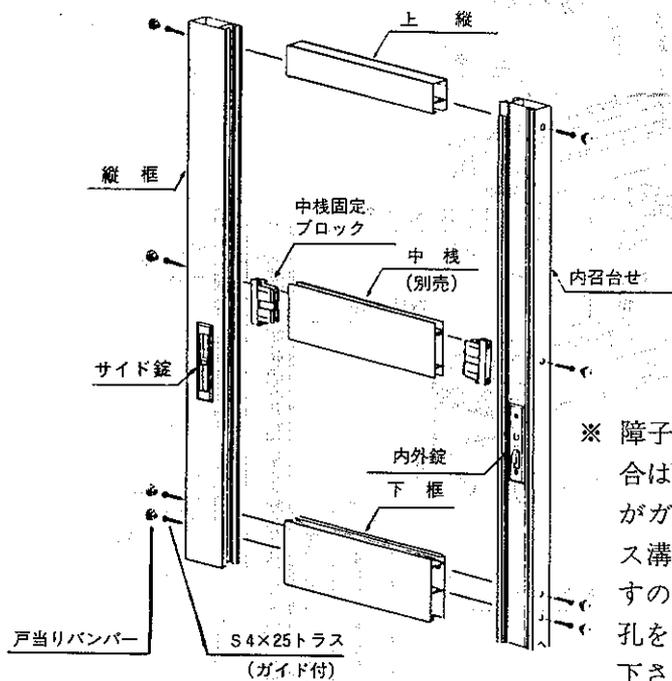
# 玄関引戸枠組立図



## ●組立手順

- ① 先付ビードを室内側にセットして下さい。
- ② 建物側の枠材にピッチ450~500mm位に φ5.5の孔明けをします。
- ③ 縦枠に横材組立孔に合わせてシーラーを貼り付けます。  
(縦枠には複数の横材取付孔が明けてありますので貼り付ける時注意願います。基本断面図参考のこと。)
- ④ 縦枠と横材をビス (S4×25ナベ) で組立てます。
- ⑤ 方立とコーナー方立及び割方立をビス (S4×8ト) で固定します。  
その際方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けて下さい。
- ⑥ 引戸用増縦枠 (左右) を縦材に組込み増縦枠の孔位置にφ3.5の下孔を明けビス (S4×25皿) で固定します。

## ■ 框組立手順



① ガラスにグレチャンを巻いて下さい。

※ グレチャンコーナーは直角になるように、継ぎ目は上部中央にくるようにして下さい。

② 中棧と縦框をビス止めし、グレチャンを巻いたガラスを嵌め込み召合せと中棧をビス止めして下さい。

③ 上・下框を嵌め込みビス止めして下さい。

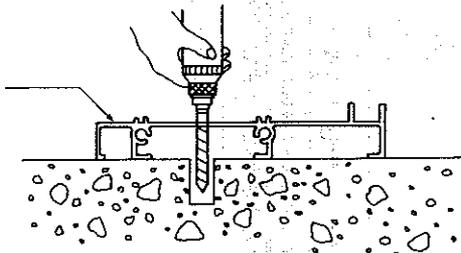
④ 外れ止め部品を下方向に下げた状態で取付ビスを締めて仮止めして下さい。

※ 障子に中棧を付ける場合は縦框に中棧用の孔がガラス溝の孔がガラス溝側に明けてありますので反対側にφ8の孔を明けて取り付けて下さい。

## ■ 引戸下枠固定方法

〈2枚引戸〉

- ① ステンレスレールを下枠から取りはずして下さい。
- ② 下枠に加工されている下孔(φ8)の位置に6mmのキリを使用して、カールプラグ打込み用孔を明けて下さい。
- ③ カールプラグを孔に差し込み、打込んで下さい。
- ④ ステンレスレールを180度回転させて、ステンレスレールの孔と下枠カールプラグ用孔が一致した所でステンレスレールをかぶせ木ビス(φ4×32)をドライバーでしめ付けて下さい。

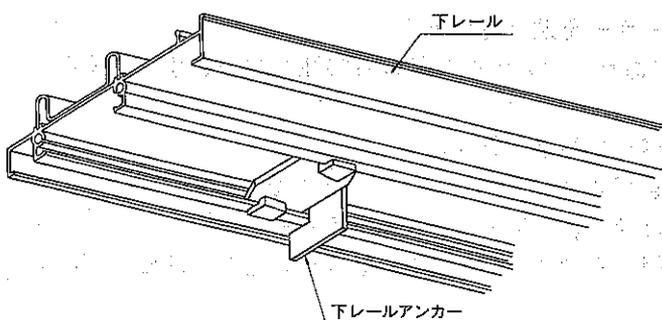
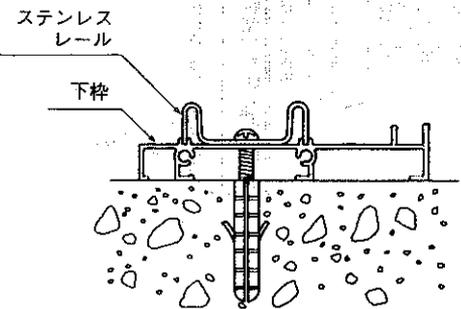


〈4枚引戸〉

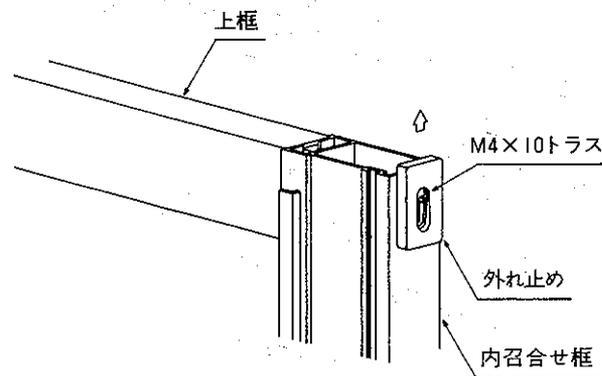
- ① 下枠に加工されている下孔(φ3.5)をφ8に明けなおし、その位置に6mmの孔を明け、カールプラグを打込んで下さい。
- ② ステンレスレールをかぶせ木ビスをドライバーでしめ付けて下さい。

※ 下枠用アンカ使用を使用する場合

- ① 下枠用アンカー(別売)を下枠に差込み差筋(別途)と溶接又はモルタルで固定して下さい。取付ピッチ≒300mm

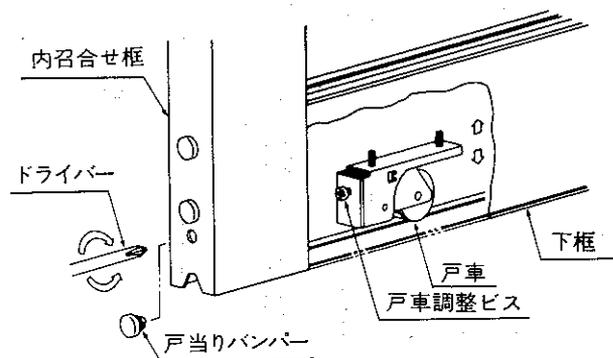


## ●障子外れ上め調整



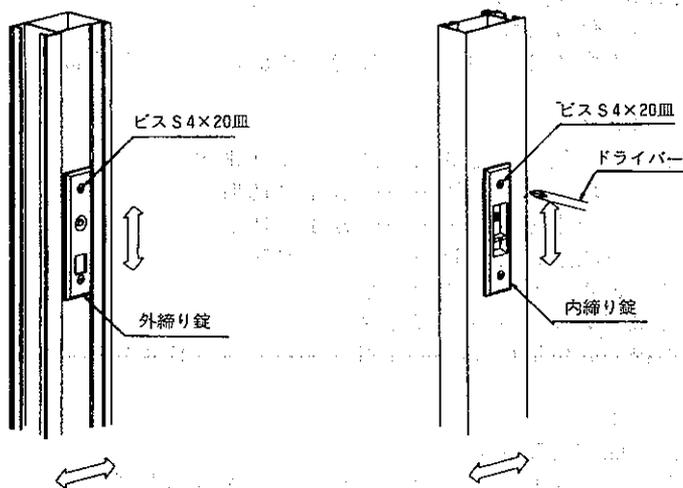
- ① 障子本体を枠に建て込んで建付調整・錠等の調整が終わりましたら取付ビスをゆるめ矢印の方向に上げて調整して下さい。
- ② 調整が終わりましたら取付ビスを締めて下さい。

## ●戸車調整



- ① 下方のバンパーを取り外して下さい。
- ② 戸車調整ビスを田ドライバーで回して調整します。  
○右へ回すと障子が上がります。  
○左へ回すと障子が下がります。

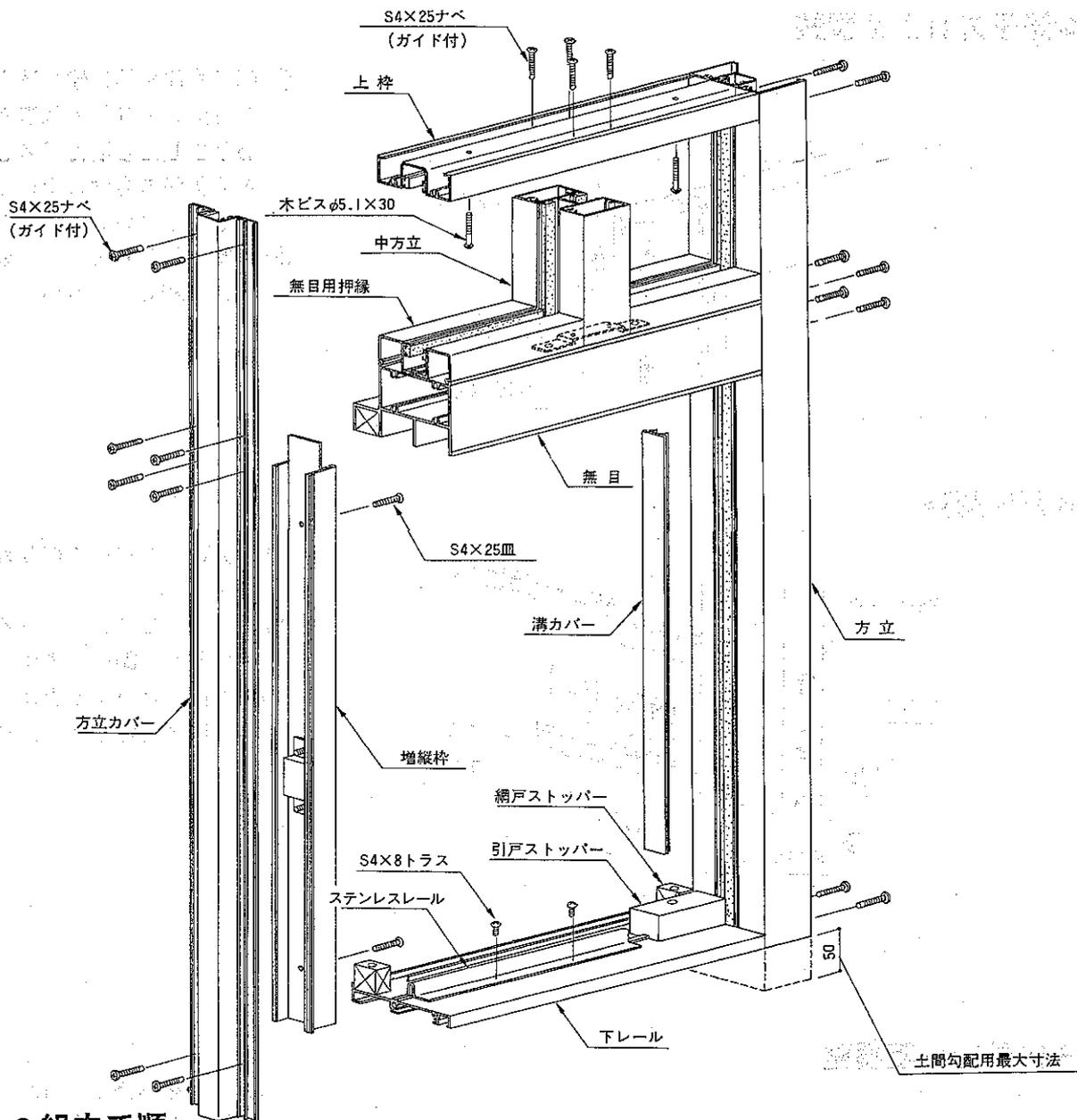
## ●内外締り錠調整



- ① 戸車を調整して掛かりが悪くなった場合は、内締り錠取付ビスをゆるめ外締り錠と合うように調整して下さい。
  - ② 上下方向に各々3mm左右方向に各々1.5mm調整が可能です。
  - ③ 内締り錠で調整ができない場合は、外締り錠を移動させて、あらためて内締り錠を調整して下さい。
- (注) サイド錠と召合せ框煙り返し部分が当たりますので内外錠調整後サイド錠を取付けて下さい。

※必ず外から鍵を差込んで鍵が掛かるかどうか確認して下さい。

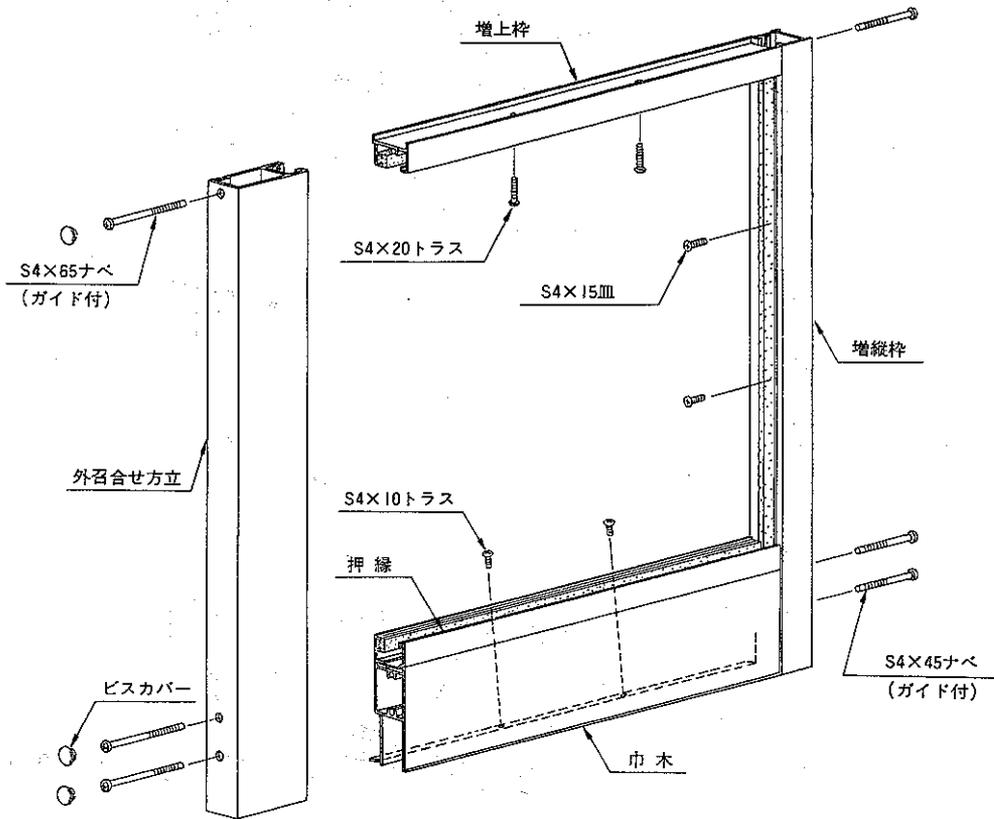
# ■ 玄関引戸・片引戸枠組立図

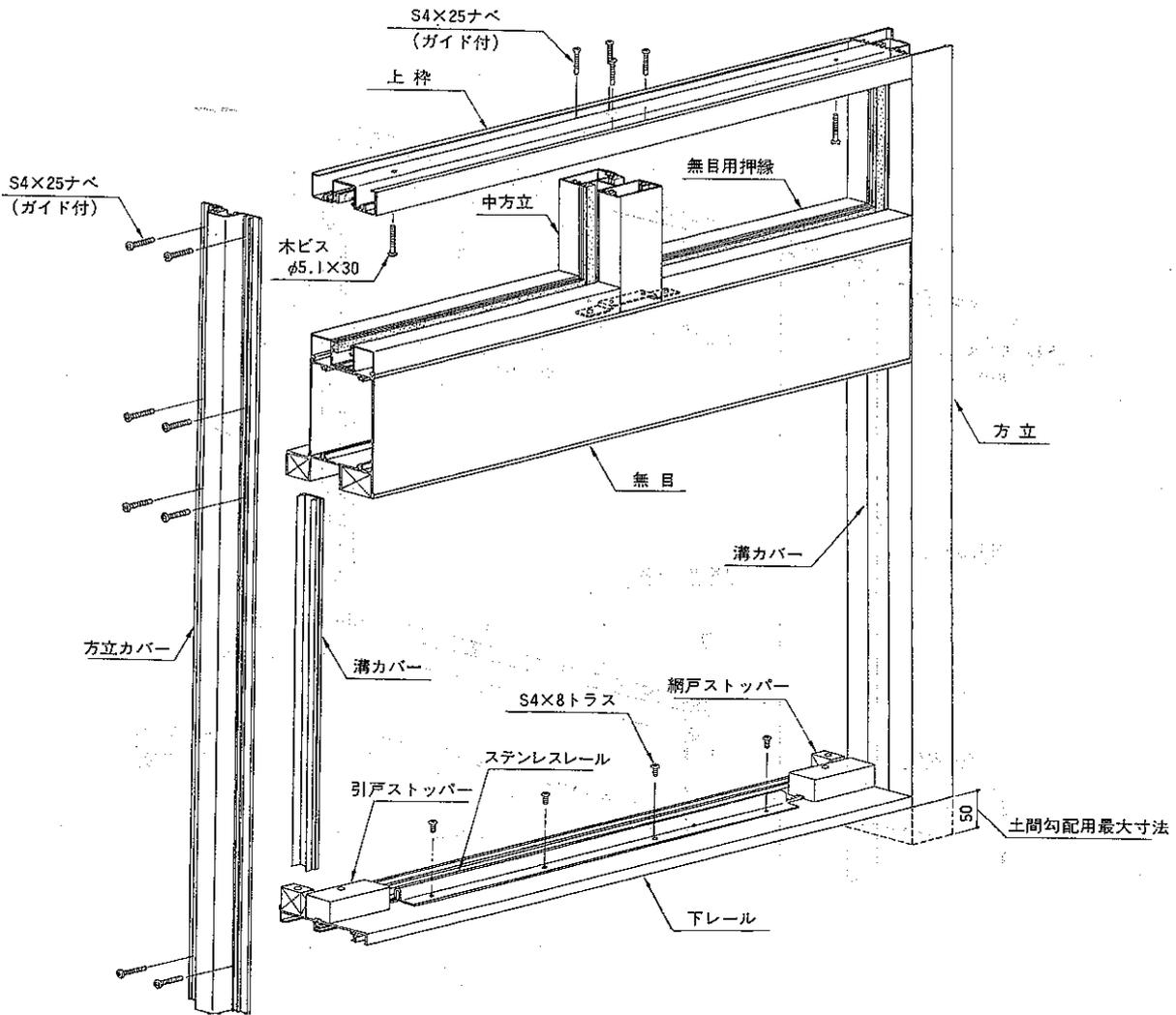


## ● 組立手順

- ① 先付ビードを室内側にセットして下さい。
- ② 建物側の枠材にピッチ450～500mm位にφ5.5の孔明けをします。
- ③ 縦枠に横材組立孔に合わせてシーラーを貼り付けます。  
(縦枠には複数の横材取付孔が明けてありますので、貼り付ける時注意願います。基本断面図参考のこと。)
- ④ 縦枠と横材をビス(S4×25ナベ)で組立てます。  
Ⓜ 嵌殺し枠を組込んでから組立てて下さい。後からでは入りにくくなります。
- ⑤ 嵌殺し枠を引戸枠に固定します。
  - 増縦枠と縦材…………… S4×15皿
  - 巾木と下枠…………… S4×10ト
  - 増上枠と無目…………… S4×20ト
- ⑥ 方立とコーナー方立及び割方立をビス(S4×8ト)で固定します。  
その際、方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けて下さい。
- ⑦ 引戸用増縦枠を室内側にセットし、増枠の孔位置にφ3.5の下孔を明けビス(S4×25皿)で固定します。
- ⑧ 溝カバーを弓なりにして縦枠に嵌込んで下さい。  
入りにくい場合はペンチ等で嵌合い部を曲げて下さい。
- ⑨ ガラスを外部から嵌込んだのちセッティングブロックをセットし、押縁を挿入し後付ビードで固定します。
- ⑩ 嵌殺し枠、組立孔に孔フサギ材を嵌込んで下さい。

# ■ 片引戸嵌殺し枠組立図

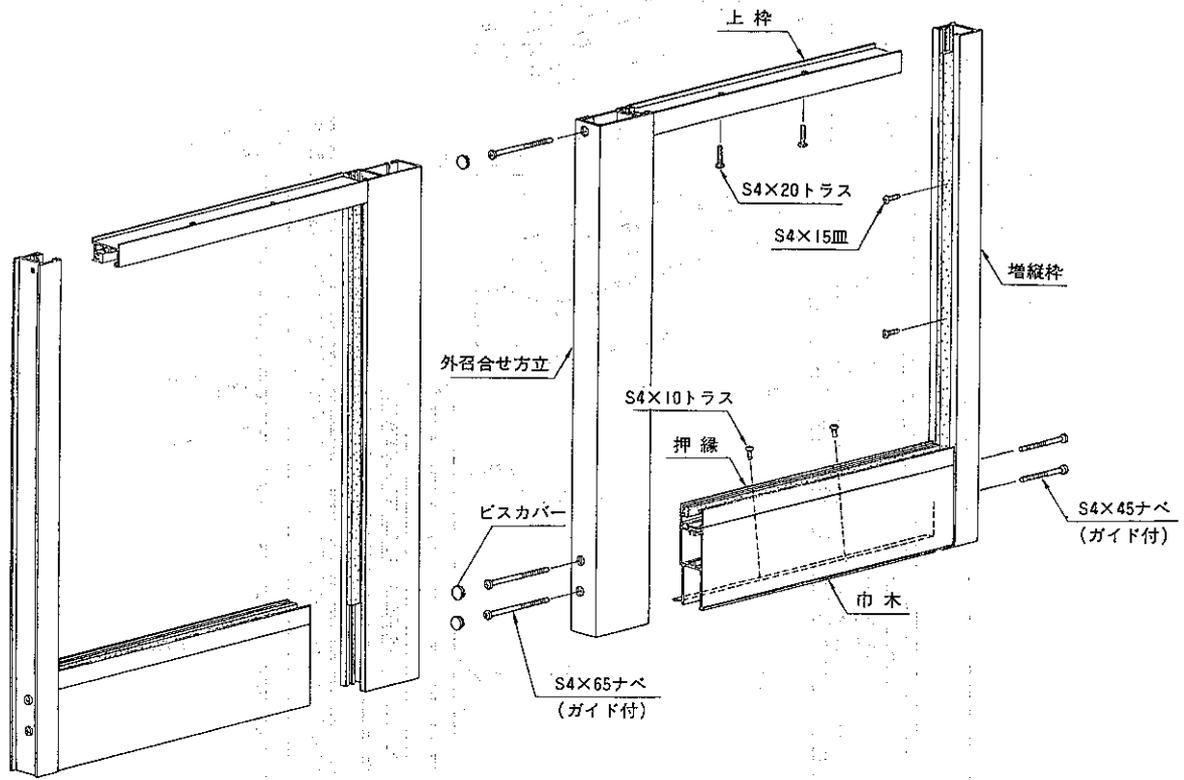




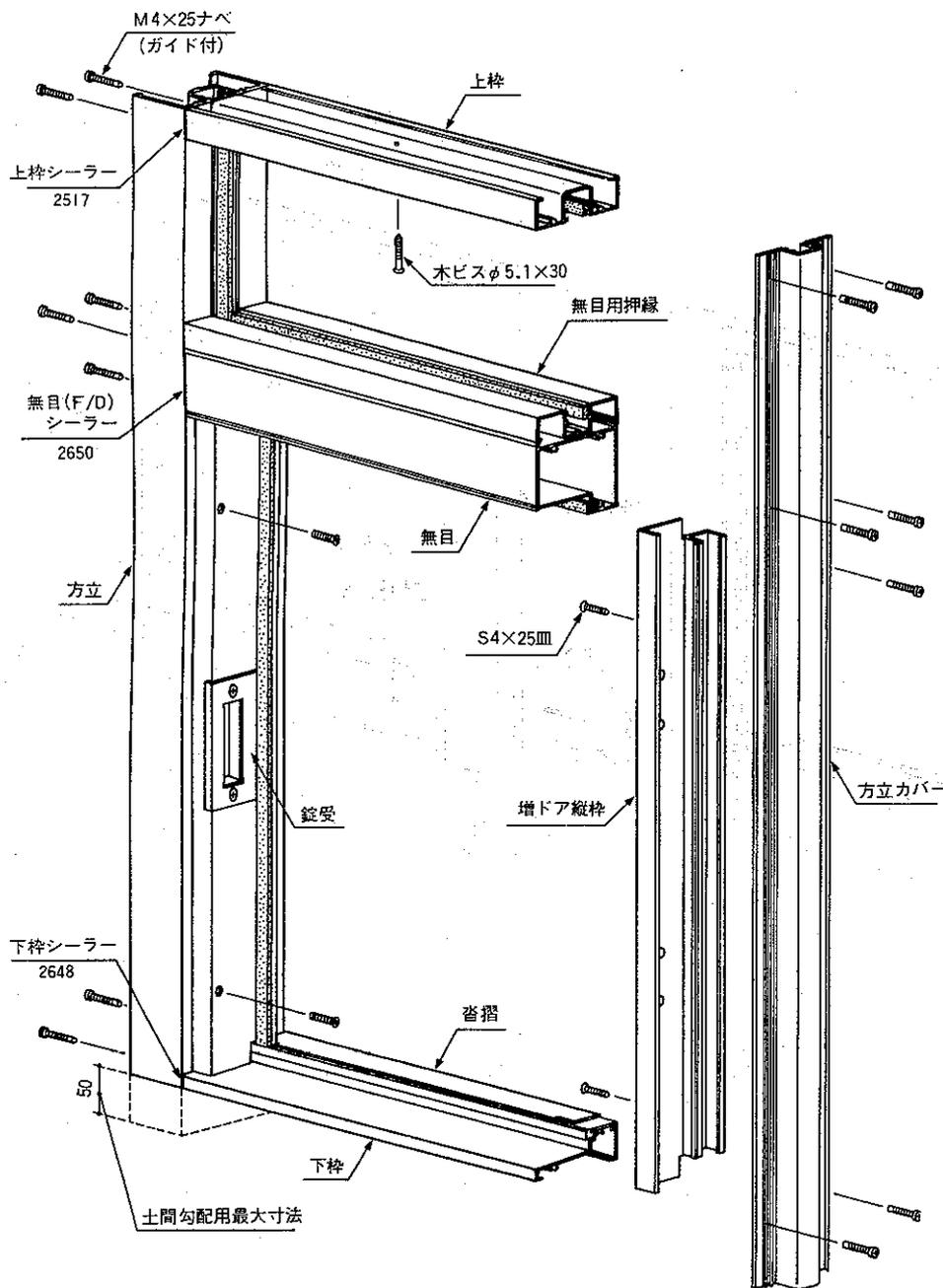
● 組立手順

- ① 先付ビードを室内側にセットして下さい。
- ② 建物側の枠材にピッチ450～500mm位にφ5.5の孔明けをします。
- ③ 縦枠に横材組立孔に合わせてシーラーを貼り付けます。  
(縦枠には複数の横材取付孔が明けてありますので、貼り付ける時注意願います。基本断面図参考のこと。)
- ④ 縦枠と横材をビス (S 4 × 25ナベ) で組立てます。  
⑤ 嵌殺し枠を組込んでから組立てて下さい。後からでは入りにくくなります。
- ⑥ 嵌殺し枠を引戸枠に固定します。
  - 増縦枠と縦枠…………… S 4 × 15皿
  - 巾木と下枠…………… S 4 × 10ト
  - 増上枠と無目…………… S 4 × 20ト
- ⑦ 方立とコーナー方立及び割方立をビス (S 4 × 8ト) で固定します。  
その際、方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けて下さい。
- ⑧ 溝カバーを弓なりにして縦枠に嵌込んで下さい。  
入りにくい場合はペンチ等で嵌合い部を曲げて下さい。
- ⑨ ガラスを外部から嵌込んだのちセッティングブロックをセットし、押縁を挿入し後付ビードで固定します。
- ⑩ 嵌殺し枠、組立孔に孔フサギ材を嵌込んで下さい。

# ■ 玄関引戸・引分戸組立図



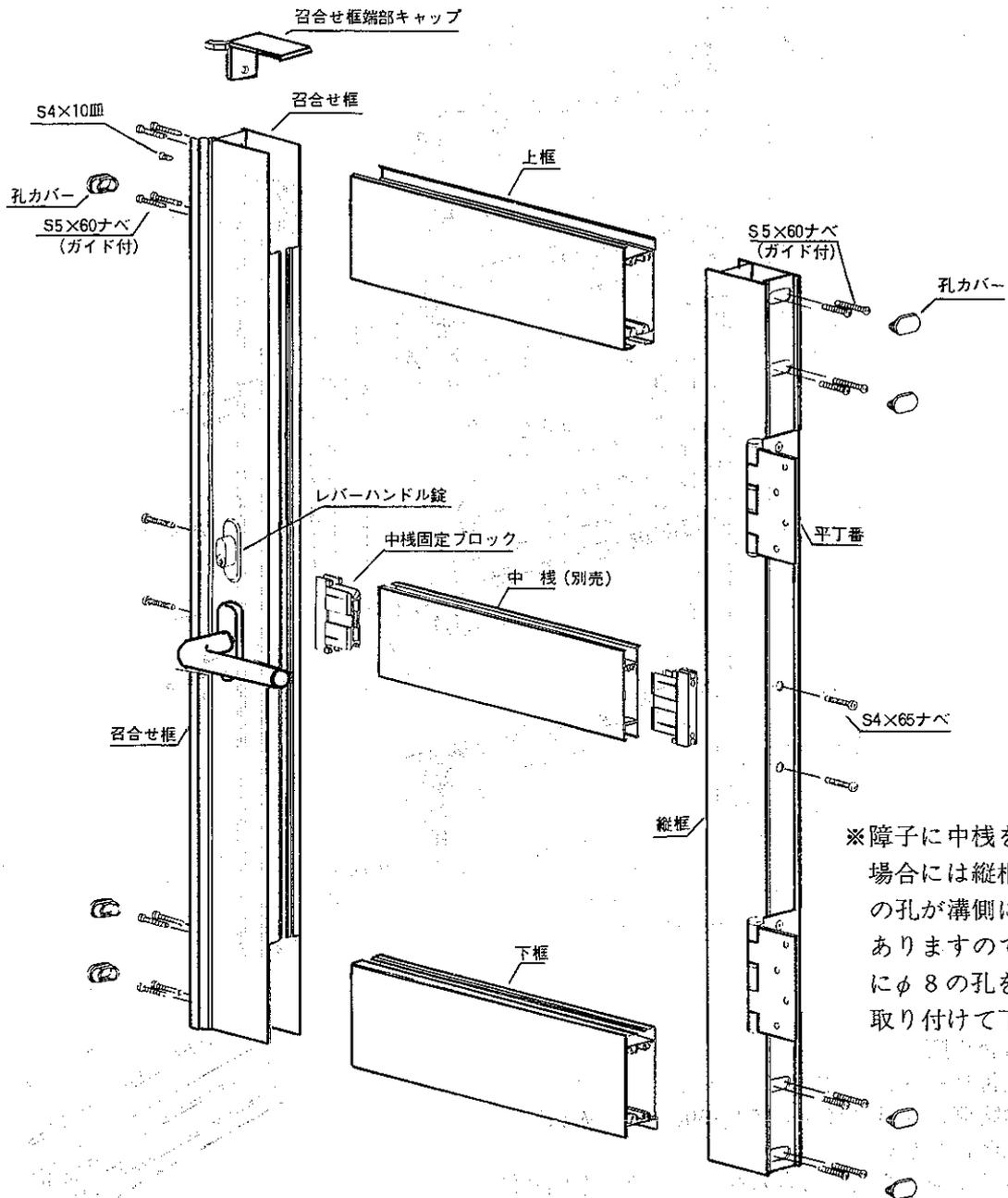
# 框ドア枠組立図



## ●組立順序

- ① 先付ビードを室内側にセットして下さい。
- ② 縦枠に横材組立孔に合わせてシーラーを貼り付けます。  
(縦枠には複数の横材取付孔が明けてありますので貼り付ける時注意願います。基本断面図参考のこと。)
- ③ 別売枠アンカー (FJEBO×2)を下枠に嵌込みます。
- ④ 縦枠と横材をビス (S4×25ナベ) で組立てます。
- ⑤ 方立とコーナー方立及び割方立をビス (S4×8ト) で固定します。  
その際方立カバー孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けて下さい。
- ⑥ 増縦枠 (左右) を縦枠に組込みビス (S4×25皿) で固定します。
- ⑦ 框ドア本体を吊込みます。
- ⑧ アンカー部分にモルタル詰めして下さい。

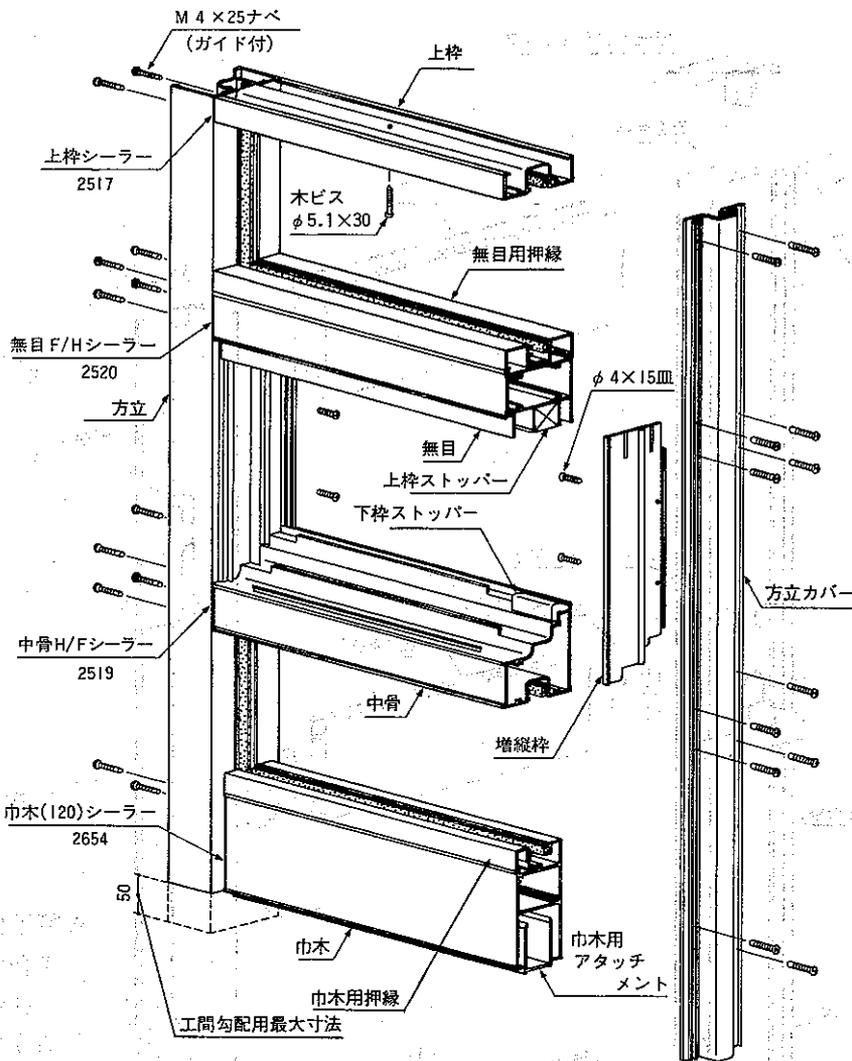
## ■ 框組立図



### ● 組立順序

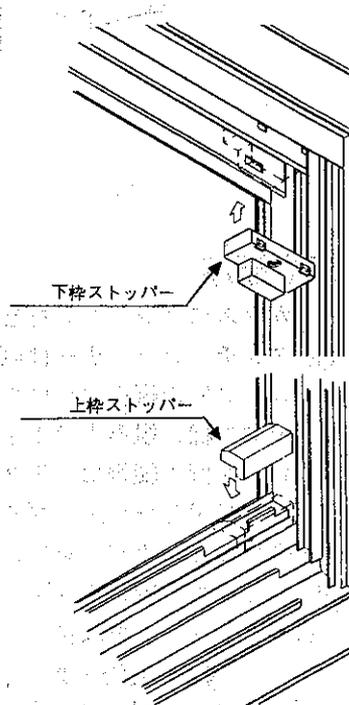
- ① ガラスにグレチャンを巻いて下さい。  
注)グレチャンコーナーは直角になるように継ぎ目は上部中央にくるようにして下さい。
- ② ロック側の縦框についているキャップをはずして下さい。
- ③ 上図の様に組み上げて下さい。  
注)ロック側の縦框は上下2mm短かく切断してあります。
- ④ ②ではずしたキャップをはめ込んで下さい。
- ⑤ 縦框にビスカバーをはめ込んで下さい。
- ⑥ 別売部品箱内のロック・丁番( $\frac{C}{H}$ FJDBO×1)を取付けて下さい。  
注)ドアチェックを取付ける場合、上框の捨てビスを外して別売部品のドアチェックセット( $\frac{C}{H}$ FJDBO×2)を取付けて下さい。  
〔錠本体を取付ビスがもしバカになった場合同梱のネジ持を使用して下さい。〕

# 高窓引違い窓枠組立図

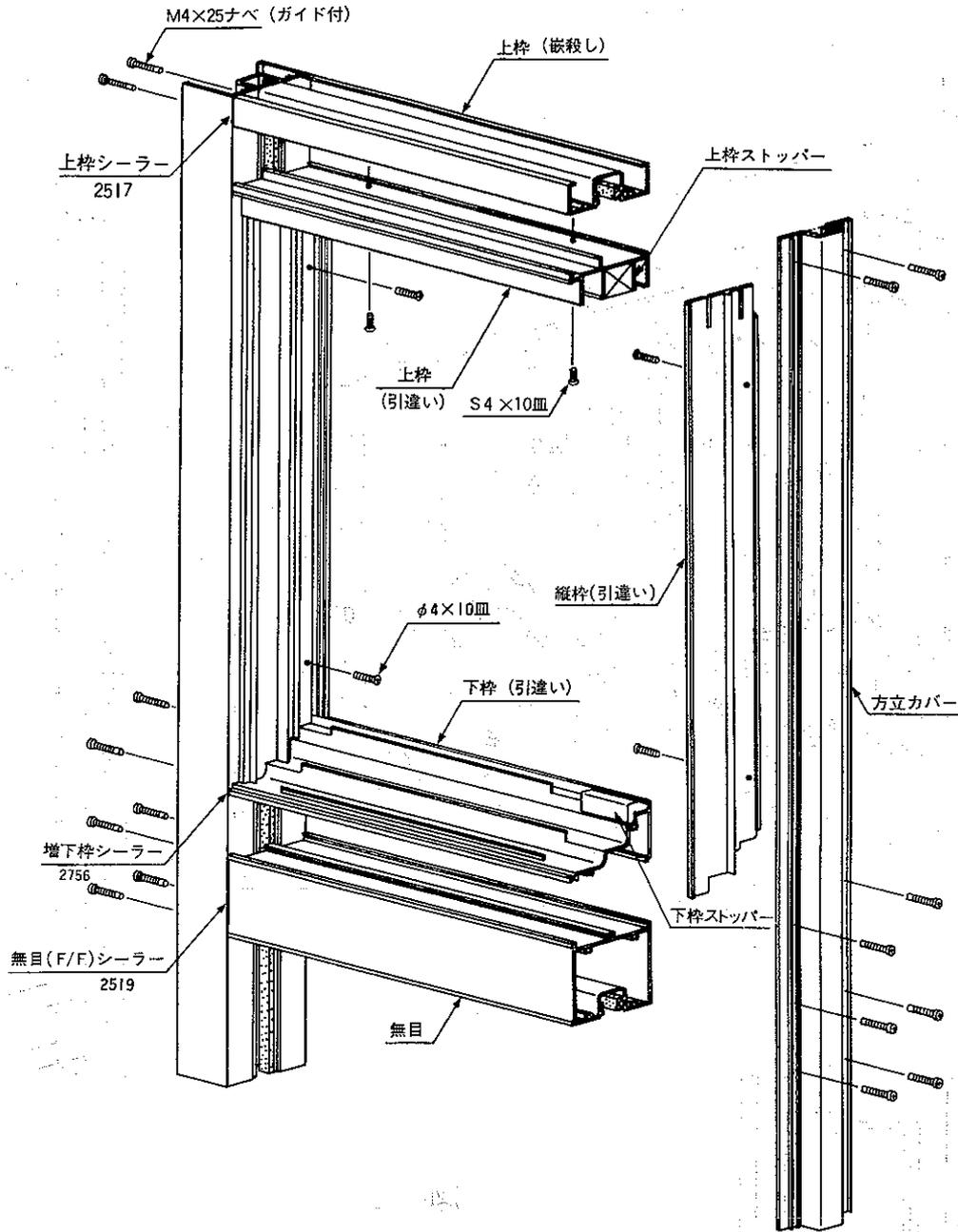


## ● 取付手順

- ① 先付ビードを室内側にセットして下さい。
- ② 建物側の枠材にピッチ450~500mm位に $\phi 5.5$ の孔明けをします。
- ③ 縦枠に横材組立孔に合わせてシーラーを貼り付けます。  
(縦枠には複数の横材取付孔が明けてありますので貼り付ける時注意願います。基本断面図参考のこと。)
- ④ 縦枠と横材をビス(S4×25ナベ)で組立てます。
- ⑤ 方立とコーナー方立及び割方立をビス(S4×8ト)で固定します。  
その際方立カバーの孔位置に合わせて $\phi 3.5$ の下孔を明けて下さい。
- ⑥ 高窓用増縦枠を縦材に組込み増縦枠の孔位置に $\phi 3.5$ のキリを使用して縦枠に下孔を明けビス(S4×15皿)で固定します。
- ⑦ 高窓用縦枠(内観左側)を取付けた後、上枠・下枠ストッパーを嵌め込んでください。



# ランマ引違い窓枠組立図



## ● 組立順序

- ① 縦材に下枠組立用孔明けをします。(縦枠加工図参照)
- ② 先付ビードを室内側にセットして下さい。
- ③ 縦枠に横材組立孔に合わせてシーラーを貼り付けます。  
(縦枠には複数の横材取付孔が明けてありますので貼り付ける時注意願います。基本断面図参考のこと。)
- ④ 縦枠と横材をビス (S 4 × 25ナベ) で組立てます。
- ⑤ 方立とコーナー方立及び割方立をビス (S 4 × 8ト) で固定します。その際方立カバーの孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けて下さい。
- ⑥ 上枠を躯体に取り付けます。その際、上枠にφ5.5のバカ孔を明け木ビスで固定します。
- ⑦ 上枠を嵌殺し上枠にビス (S 4 × 10皿) で固定します。
- ⑧ 増縦枠 (左右) を縦枠に組込みビス (S 4 × 10皿) で固定します。その際増縦枠の孔位置に合わせてφ3.5の下孔を明けて下さい。
- ⑨ 窓用縦枠 (内観左側) を取付けた後、上枠・下枠ストッパーを嵌め込んでください。(高窓引違い窓参照)

# 高窓上げ下げ窓枠組立図

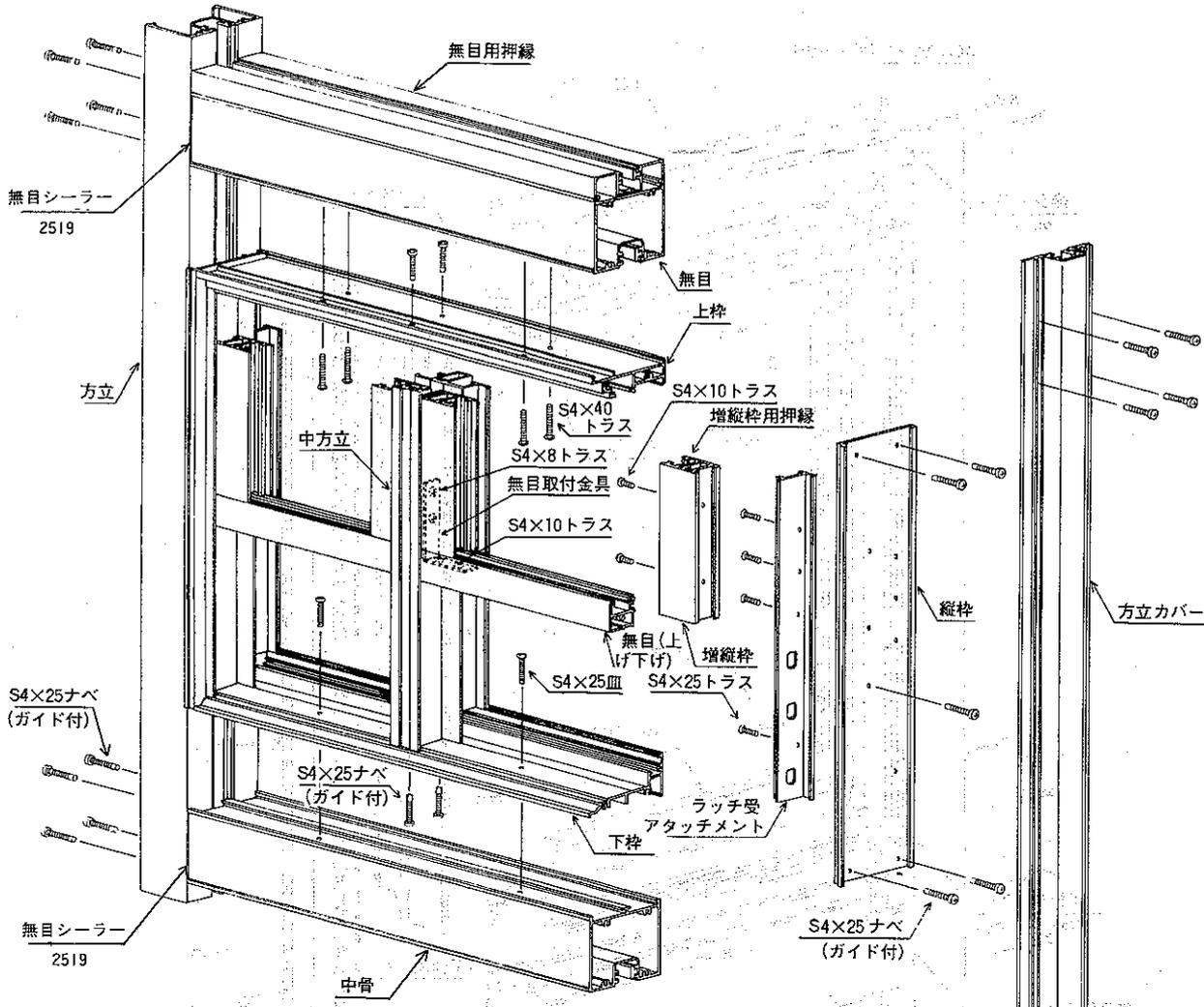


図-2

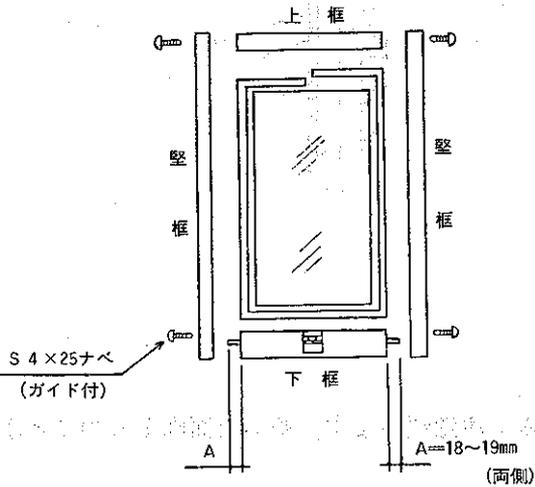
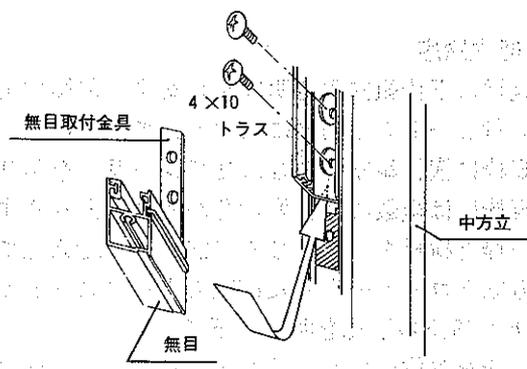


図-1



- ① ガラスにグレチャンを巻いて下さい。  
注)グレチャンコーナーは直角になるように継ぎ目は上部中央にくるようにして下さい。
- ② 下框に付いているロッド棒の寸法を図-2の様にA=18~19mmに両側調整して下さい。
- ③ 上框、及び下框と縦框をビス(S4×25ナベ)で組立てて下さい。

● 無目取付金具を堅アタッチメントの裏側に入れ4×10トラスビスで中方立に取り付ける。

● 組立手順

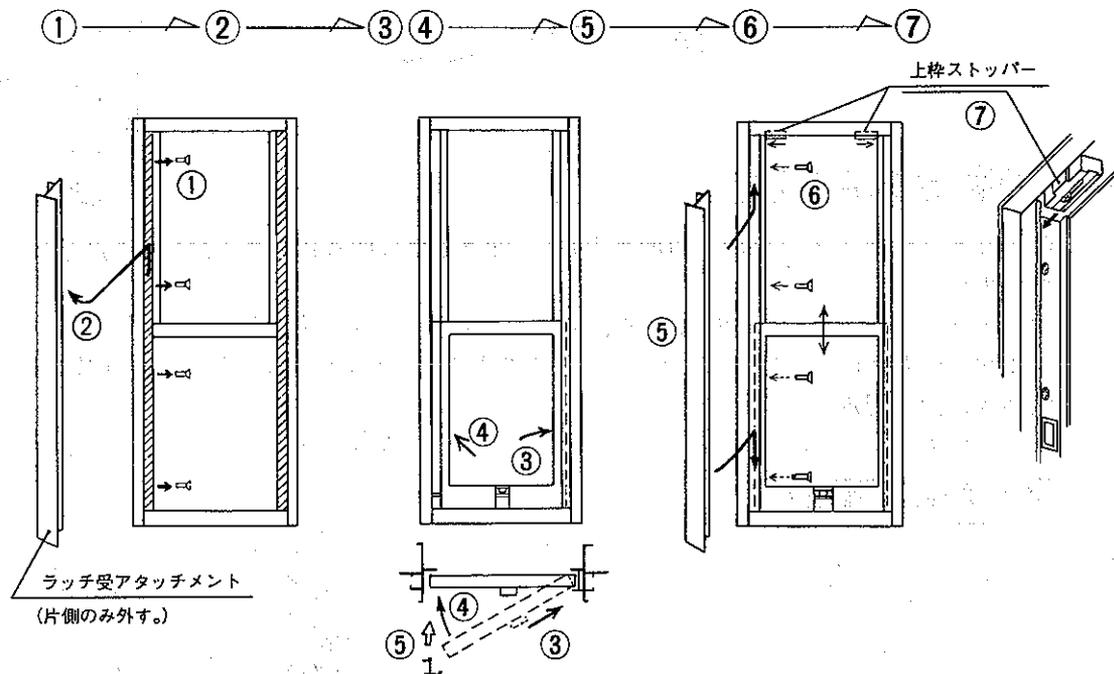
- ① 先付ビードを室内側にセットして下さい。
  - ② 縦枠に横材組立孔に合わせてシーラーを貼り付けます。  
(縦枠には複数の横材取付孔が明けてありますので貼り付ける時注意願います。  
断面図参考の事)
  - ③ 上げ下げ窓材を除いて縦枠と横材をビス (S 4 × 25ナベ) で組立てます。
  - ④ 方立とコーナー方立及び割方立をビス (S 4 × 8ト) で固定します。その際方立カバー孔位置に合わせてφ 3.5 の下孔を明けて下さい。
- 注)方立と無目及び中骨を組立てる場合上げ下げ窓枠が入りますので上下に広げてビス止めして下さい。

〈上げ下げ窓枠組立〉

- ⑤ 中方立と無目を図-1の様にビス (S 4 × 10ト) で固定します。
  - ⑥ 上枠及び下枠と中方立をビス (S 4 × 25) ナベで組立てます。
  - ⑦ 増縦枠 (左・右) と上枠・下枠・無目をビス (S 4 × 25ナベ) で組立てます。
  - ⑧ ④で組みがった枠に上げ下げ窓枠を組み込みビスで固定します。その際上げ下げ窓枠孔位置に合わせてφ 3.5 の下孔を明けて下さい。  

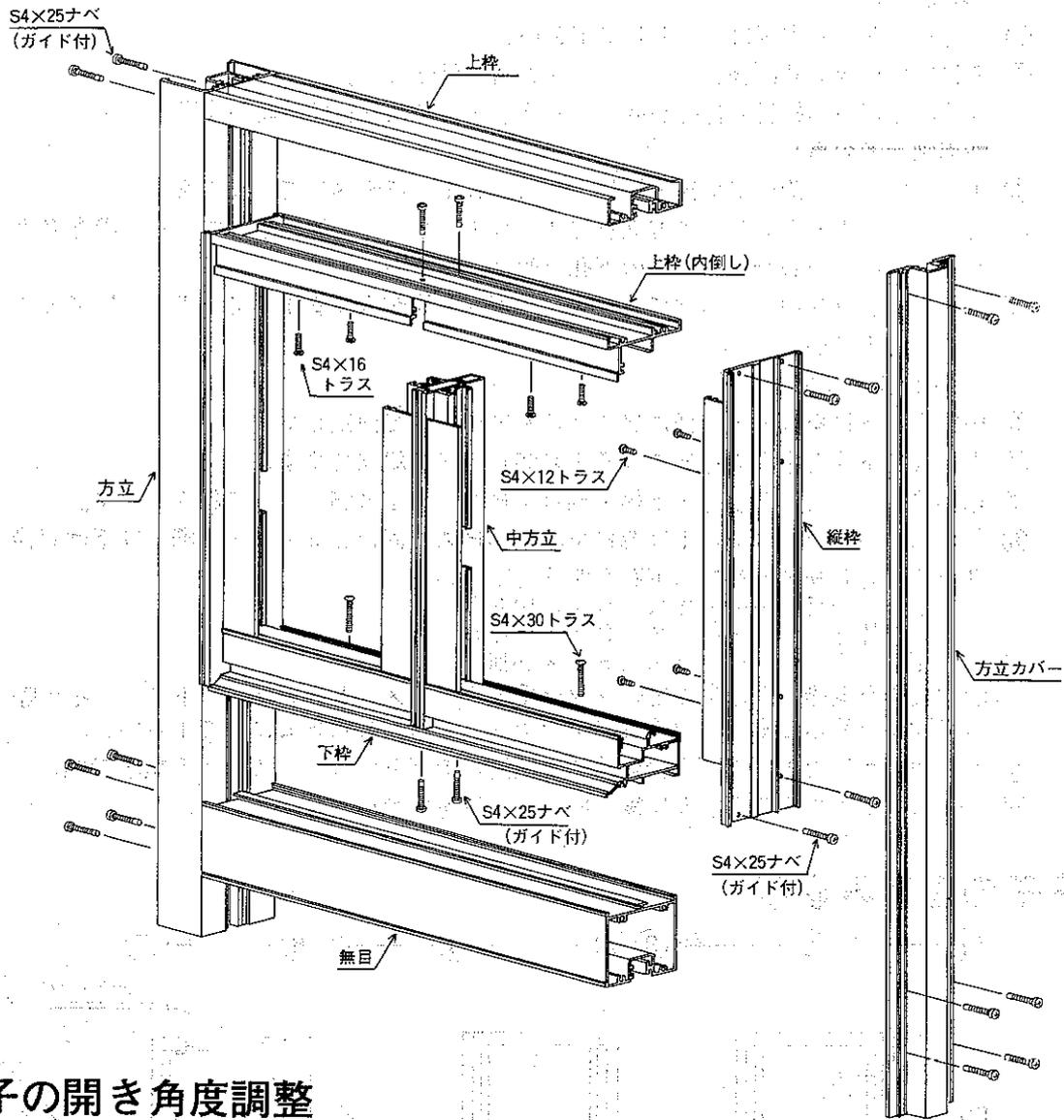
上枠と無目	……………	ビス (S 4 × 10ト)
増縦枠と縦枠	……………	ビス (S 4 × 16皿)
下枠と中棧	……………	ビス (S 4 × 25皿)
- 注)増縦枠を縦枠に固定する場合ラッチ受アタッチメントを外して下さい。その際尚障子を建込むまでラッチ受アタッチメントは外したままにして下さい。
- ⑨ ⑧で組上がった上げ下げ窓枠に障子を建込んで下さい。(障子の建込み順序参照)
  - ⑩ FIX部のガラスは押縁を入れ後付ビード (別売) でハメ込んで下さい。

■ 障子の建込み順序



- ① ラッチ受アタッチメントを取付けているビス 4 × 12特皿をはずす。  
(片側をはずすだけで良い。又外したビスの粉失に注意して下さい。)
- ② ラッチ受アタッチメントをケンドン方式ではずす。
- ③ ④ 障子を片方のラッチ受アタッチメントに差し込み、回転させセットします。障子は閉じた状態になる様セットして下さい。
- ⑤ ⑥ ラッチ受アタッチメントをはずした時と逆の手順でセットしビス止めして下さい。
- ⑦ 上枠ストッパーのビスをゆるめ堅枠側にスライドし、ラッチ受アタッチメントに当たる様セットしビスを締めて下さい。(上枠とのチリ隠しになります。)

# ランマ内倒し窓枠組立図



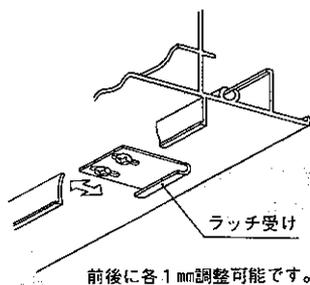
## 障子の開き角度調整

障子高さ寸法 06タイプは開き角度最大45°・09タイプは開き角度最大30°に設定されています。

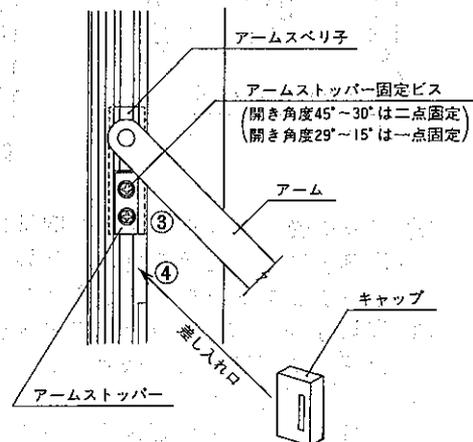
アームストッパーのビスをゆるめて、アームストッパーを上方向にスライドして固定しますと任意の開き角度（最小15°）に設定できます。なおアームストッパーは必ず左右共同位置に固定して下さい。

注）アームストッパー固定後、差し入れ口にキャップをはめて下さい。

## ラッチ受け調整方法



③ ビスは完全に抜かないで、ゆるめるだけで調整して下さい。



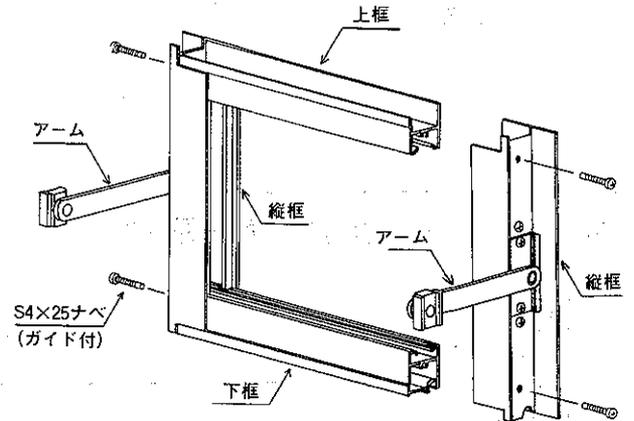
● 組立手順

〈内倒し窓枠組立〉

- ① 上枠及び下枠と中方立をビス (S 4 × 25ナベ) で組立てます。
- ② 増縦枠 (左右) と上枠、下枠をビス (S 4 × 25ナベ) で組立てます。
- ③ 枠材本体のランマ部分に内倒し窓枠を組込みビスで固定します。  
その際内倒し窓枠孔位置に合わせて  $\phi 3.5$  の下孔を明けて下さい。  
上枠とFIX上枠……………ビス (S 4 × 20ト)  
増縦枠と縦枠……………ビス (S 4 × 12皿)  
下枠と無目……………ビス (S 4 × 60ト)
- ④ 組上がった内倒し窓枠に障子を建こんで下さい。  
(障子の建込み順序参照…)
- ⑤ FIX部のガラスは押縁を入れ後付ビード (別売) でハメ込んで下さい。

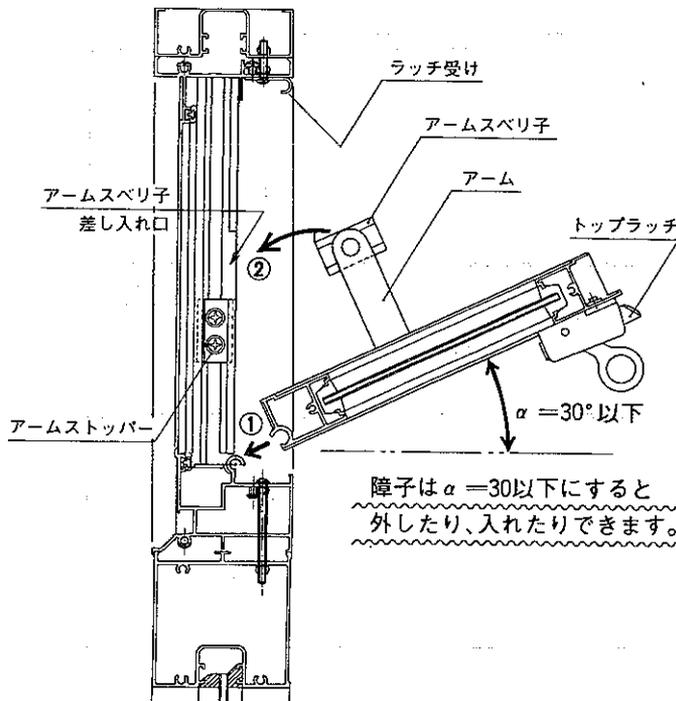
〈内倒し窓枠組立〉

- ① ガラスにグレチャンを巻いて下さい。  
注) グレチャンコーナーは直角になるように継ぎ目は上部中央にくるようにして下さい。
- ② 上枠及び下枠と縦框をビス (S 4 × 25ナベ) で組立てて下さい。



■ 障子の建込み

図-1

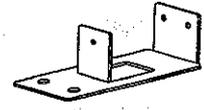
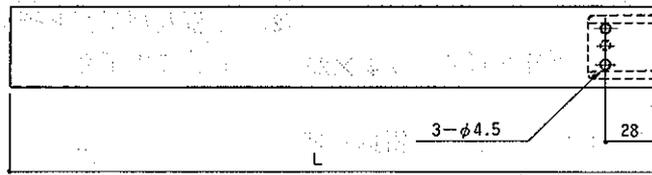
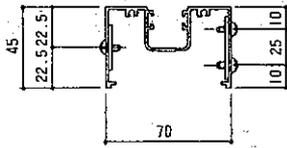


● 建込み順序 図-1

- ① 枠軸受レールに障子を30°以下に倒しながら下框部をハメ込みます。
- ② 障子を起こしながら左・右のアームスベリ子を差し入れ口より挿入し上部の方へ少し引き上げて下さい。
- ③ その状態で左・右アームストッパーのビスを少しゆるめて差し入れ口の上まで引き上げ(図-2) 確実に固定して下さい。

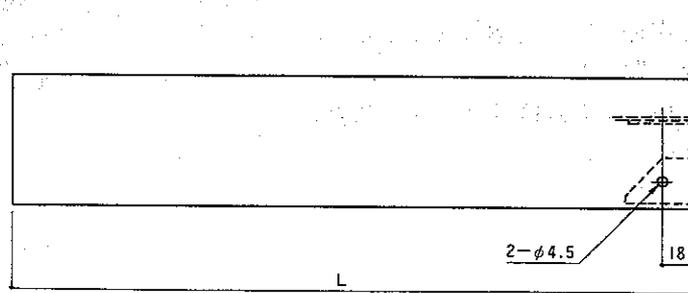
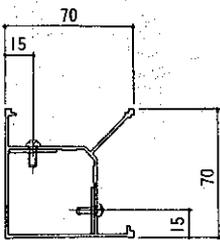
# 別売部材・部品加工図

## ● 割方立アンカー取付



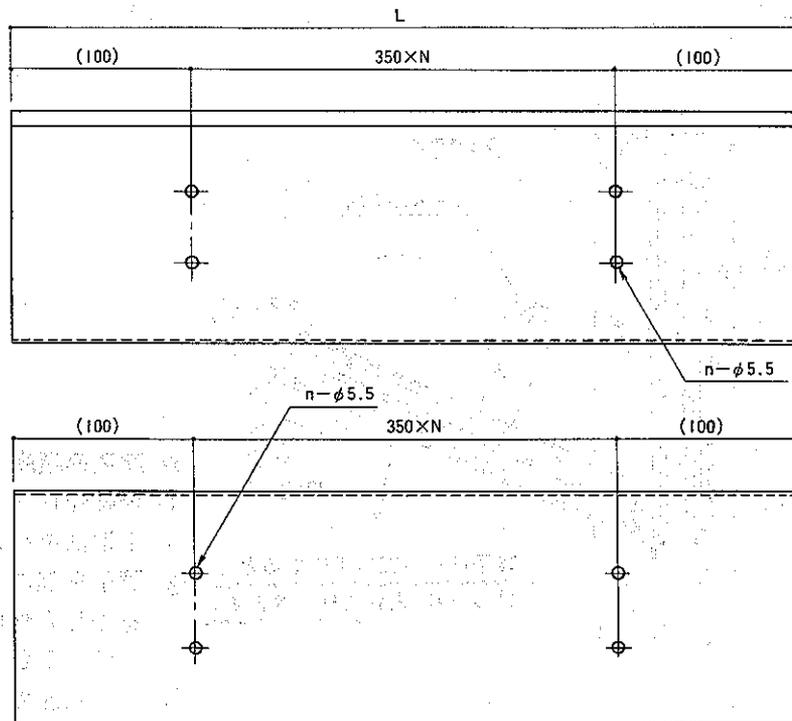
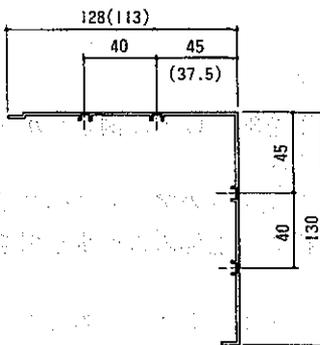
方立固定ブラケット

## ● コーナー方立アンカー取付

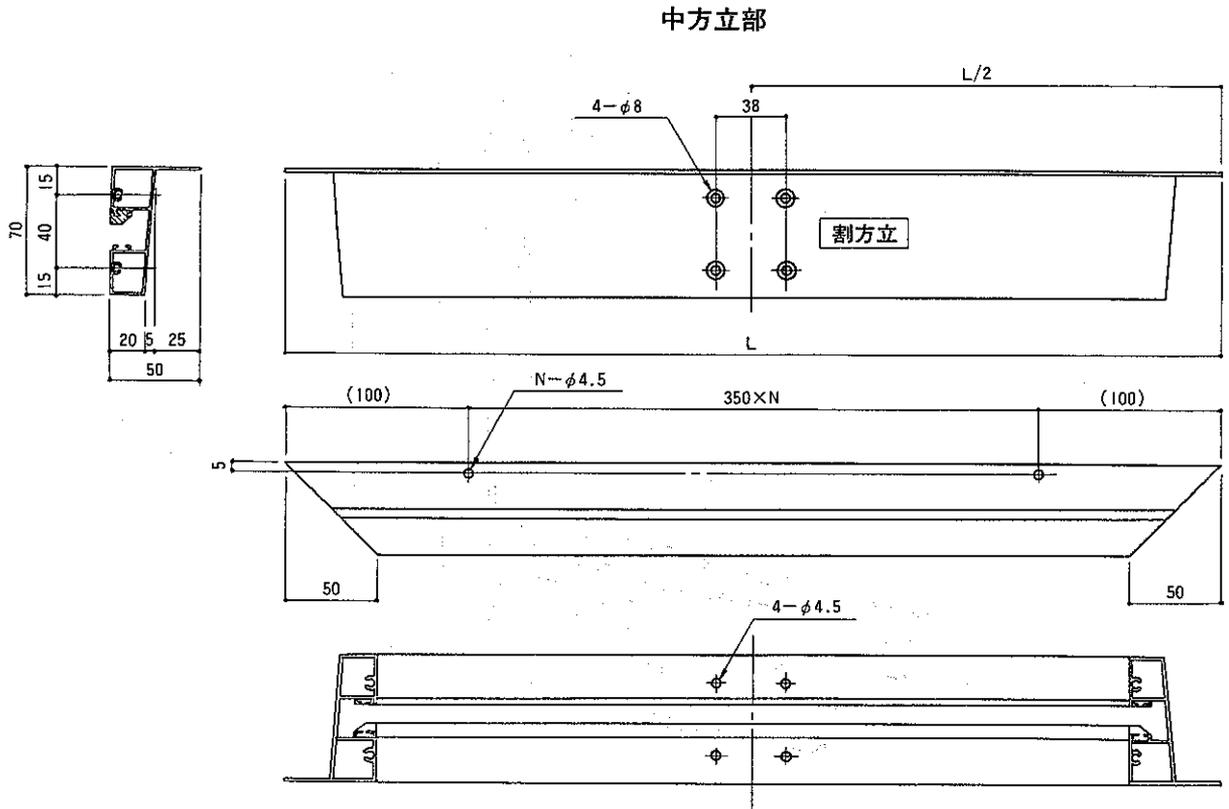


コーナー方立固定ブラケット

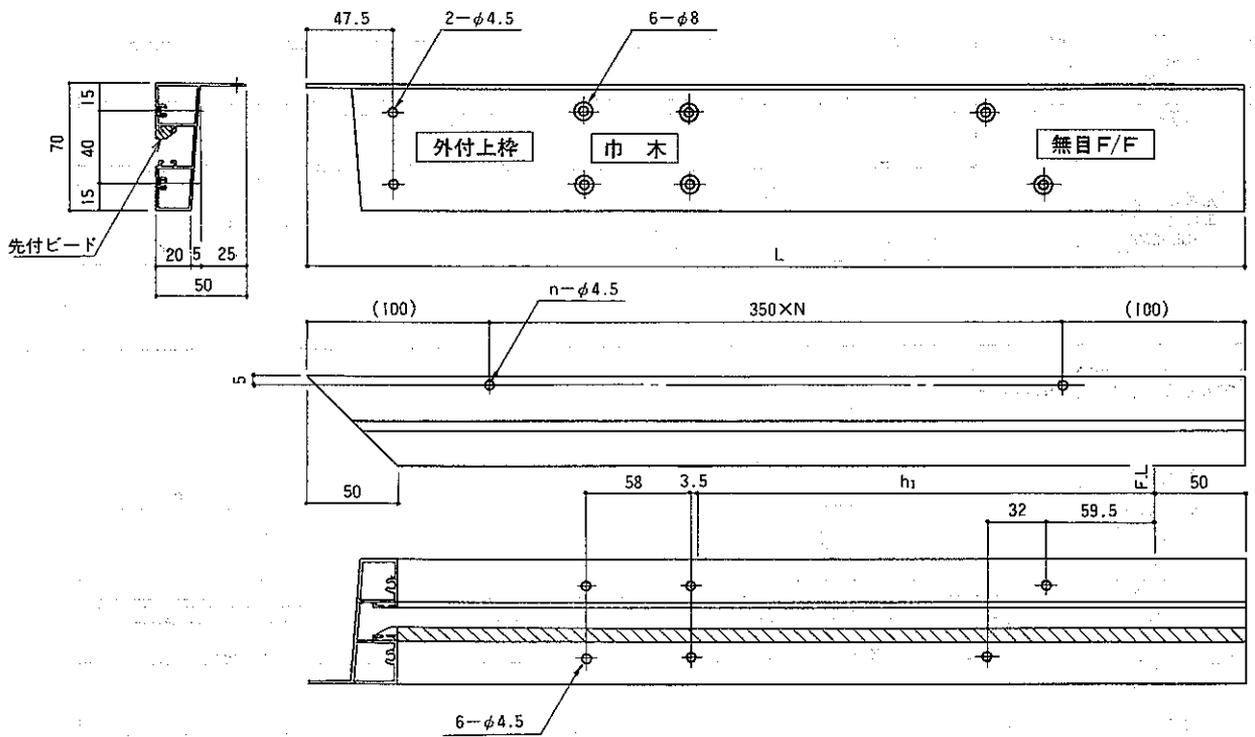
## ● 柱カバー取付



● 外付上枠

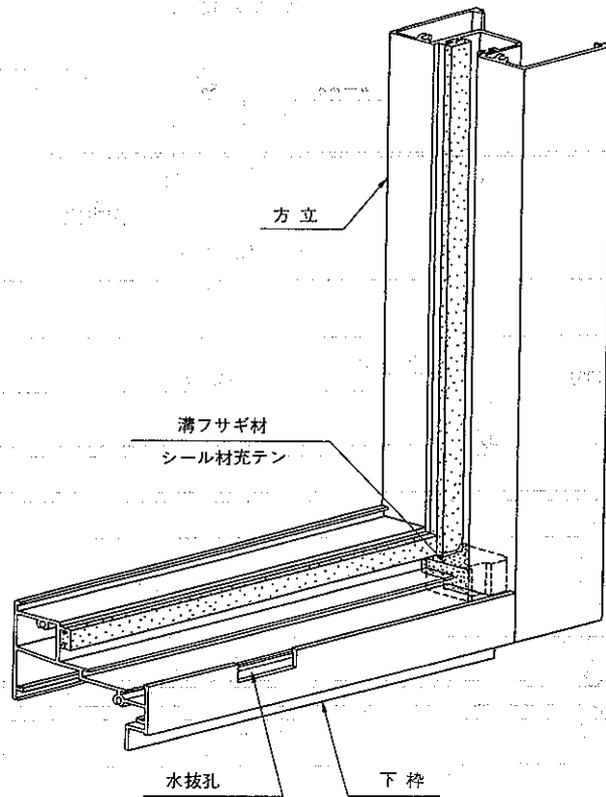


● 外付たて枠



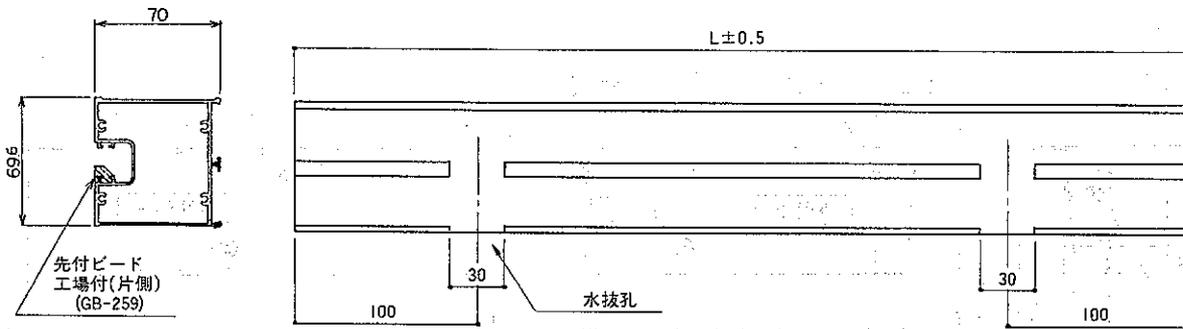
# ■ 方立ガラス溝フサギ納まり図

※方立下端から排水できない場合に使用

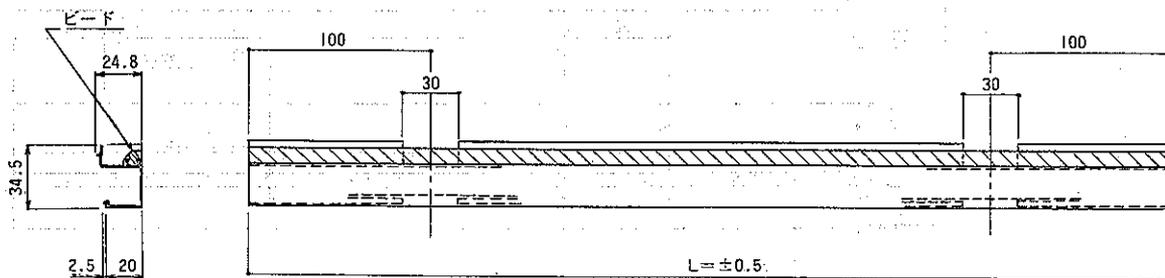


注) 下枠外部には水抜孔を明けること。

## ● 無目加工図

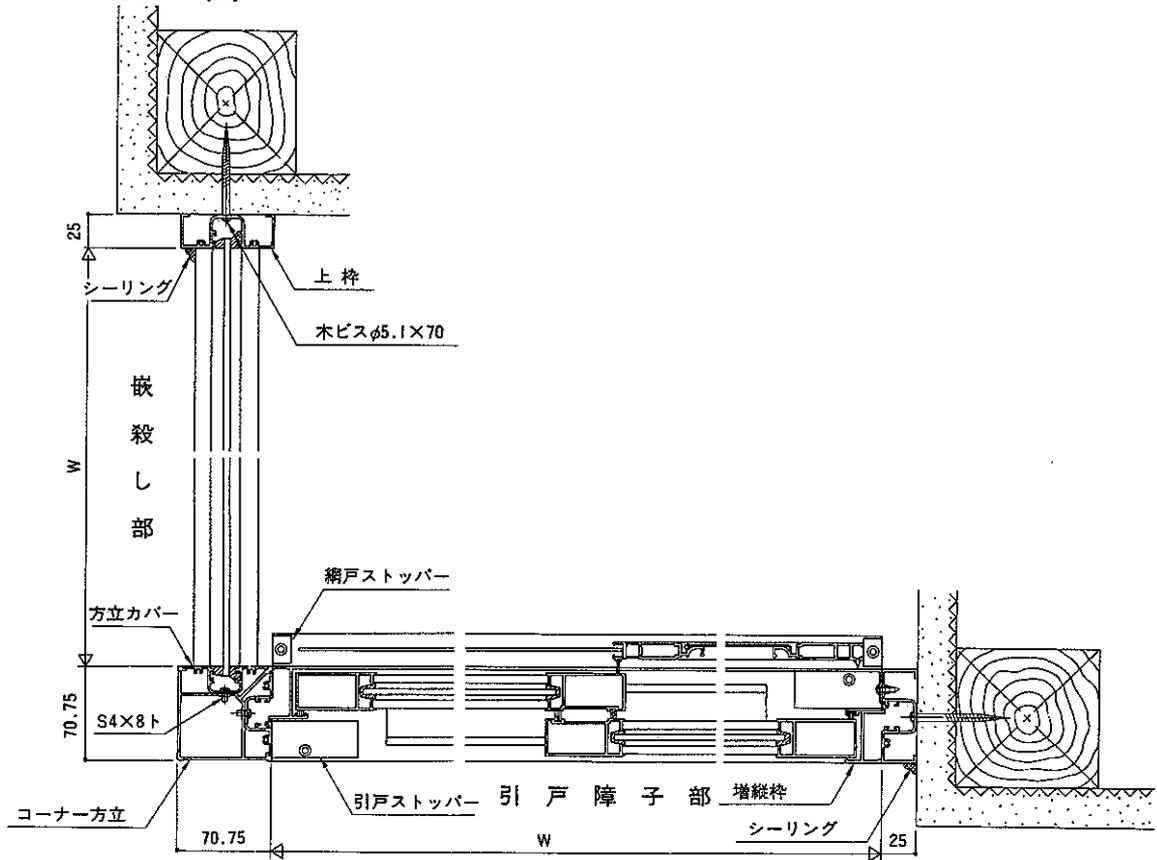


## ● 押縁(外側)加工図

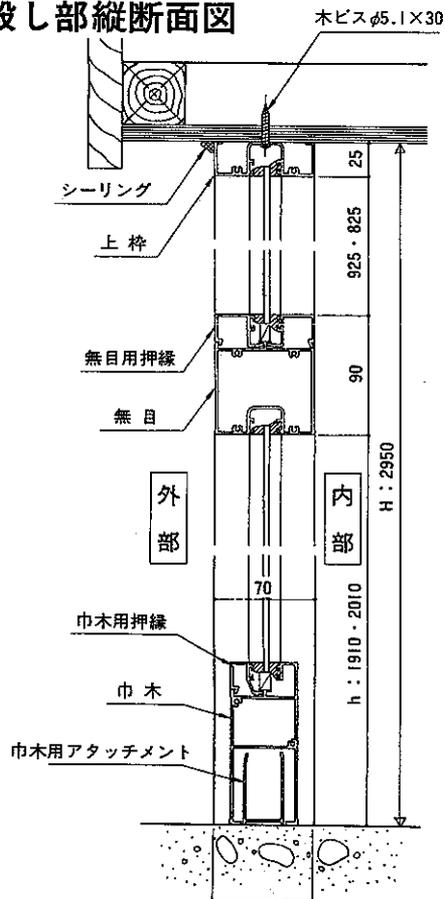


# 基本納まり図

## ● 横断面納まり図



## ● 嵌殺し部縦断面図



## ● 引戸部縦断面図

